

田沼時代に、経世済民の古学が栄えたので、幕藩体制を支える朱子学が低迷しました。

天明の大飢饉

東北地方を襲ったこの飢饉で、陸奥の白河藩（藩主は松平定信）は年貢米を大坂に送らず、百姓の御救い米にあてて餓死者を出しませんでした。

10代将軍 徳川家治 死去

子の徳川家基は早世していました
それで御三卿のうちの一橋家から

11代将軍 徳川家斉 就任

→陸奥 **白河** 藩主 **松平定信** が

将軍補佐役 兼 **老中首座** 就任

老中も月番交代ですが、老中首座を新設して専任にして、老中合議の議長も務めました。交代制だと問題先送りの無責任政治になると、古学派の荻生徂徠が『政談』で指摘していました。

松平定信は、身分制度を重視する朱子学を重んじました。徳川吉宗の孫というサラブレッドです。下級武士出身かつ商業重視の田沼意次を失脚させました。幕政未経験の28歳で総理大臣になりました。

農村復興策

● **困米** (**困糶**)

全国の諸大名に石高1万石につき50石を困米させることを命じました。※豊作時には多めに困米です。

農村に **社倉**、**義倉** を設置

全員で抛出 有志の抛出。義=ボランティア

● **旧里帰農令**

都市部に流入してきた元百姓である **無宿人** を、交通費や農具代を出して帰村を奨励（強制はしない）

都市対策

● **石川島人足寄場** 設置

隅田川の河口の石川島に無宿人や軽犯罪者を收容して、大工や左官など様々な職業訓練を施した更生施設。現在の東京刑務所。朱子学を学んだ松平定信は人間の性善説を確信、目には目をの応報刑から、教育刑の発想を英国より8年早く導入しました。人足とは働きのこと

● **七分積み金**

町入用（自治に参加できる家持町人が出し合う自治会費）を節約させて **節約分の七割** を強制積み立てさせて災害時に備えました。積立金は江戸の有力商人を利用して運用させました→幕府滅亡時に170万両を残した！

旗本御家人対策

● 俸禄米の換金代行業 **札差** (**蔵宿**)

に借金を重ねていた

→ **棄捐令**

旗本・御家人の借金の6年前以前のものを札差（蔵宿）に放棄させ、札差（蔵宿）には幕府から融資しました。

朱子学振興

● **寛政異学の禁**

朱子学を正学とし、林大学頭に命じて幕府の学問所で正学以外の儒学である陽明学や古学という **異学** を教授することを禁じました。朱子学の学問吟味にパスした者だけを役職に登用しました。※陽明学・古学の研究を禁止したり弾圧したりするものではありません。蘭学も異学でないです。

● **官立昌平坂学問所** 設置

湯島聖堂に付属する聖堂学問所は林家の私塾の位置付けでしたが、これを官立としたうえで充実させました。

● **寛政の三博士** の登用

林家の私塾ではなくなったので、林家以外の朱子学者も教官としました。朱子学を再び普及することが使命でした。

柴野栗山、尾藤二洲、古賀精里

出版統制令

S **山東京伝** S **洒落本** S **仕掛け文庫** 手鎖 50 日刑
K **恋川春町** K **黄表紙** K **金先生栄華之夢**

言論弾圧

林子平 〆 **海国兵談** 〆 版木没収、仙台強制帰郷

〆 **三国通覧図説** 〆 3国…琉球・朝鮮・蝦夷

仙台出身。海国兵談「ロシアに備えよ。長崎ばかり防衛して江戸湾に一つも砲台がないのはなぜか。思えばオランダから江戸まで、さえぎるもの無しの水路であるのに。」
※生類憐みの令の徳川綱吉が無用ぞと撤去を命じました。

経済政策

俟約令

私欲を抑えて生活を質素にして諸色の需要を抑えて物価を引き下げる。身分にあった生活

定信失脚

閑院宮家 から **光格天皇** が即位。

尊号一件 (尊号事件)

禁中並公家諸法度では親王は閑白の下とされた。そこで光格天皇は父の閑院宮典仁親王に「**上皇** (太上天皇)」の尊号を贈りたいと、閑白と武家伝奏の賛成を得て幕府に申し出たら、定信は「上皇はもと天皇という意味でありますので、天皇になったことがない人に上皇の尊号は絶対だめです」と断固拒否。鬼と呼ばれました笑
→実は11代将軍徳川家斉も **一橋家** から本家を継いだ將軍なので父の一橋徳川治済に **大御所** の尊号を贈れるぞと思いました。定信は將軍がそんなことしたら天下に示しがつきませんと大御所の尊号も絶対認めず、それと引き換えに老中を辞任しました。

諸藩の改革

● 熊本藩 **細川重賢** …硫黄の専売

● 米沢藩 **上杉鷹山** …藩校興譲館

● 秋田藩 **佐竹義和** …藩校明徳館

藩校を作る意義…藩校で学んだ者を登用するので、身分制度にとられない人材登用を可能にします
→身分制度の時代から、明治政府的な中央集権体制へ、時代が少しずつ動いているのです。

享保の改革…上米
寛政の改革…困米

080 江戸時代 寛政の改革